

目次

1 高次脳機能障がい者への就学支援

2 イベント報告

3 編集後記

2017年も皆様にとって、
良い年でありますように



1. 高次脳機能障がい者への就学支援

子供の高次脳機能障害の症状は基本的には成人と同じですが、本人だけではなく周囲も未発達で社会経験が少ないため、大人の支援が必要になることがあります。復学支援のポイントをいくつか整理してみましょう。

①学校生活で起こりうる問題を具体的に整理する

- ・朝、登校して、夕方まで授業を受けて帰ることができますか？
- ・みんなと同じ授業を受けていて勉強についていけそうですか？
- ・友達とコミュニケーションがとれそうですか？ など、

問題を具体的に整理することが、具体的な支援に繋がります。

②復学する学校環境や可能な配慮、使える制度や資源を確認する

- ・疲れた時に休める場所がありますか？
- ・個別対応など、特別な支援を受けることはできますか？
- ・助けてくれる仲の良い友達はいますか？

復学先の設備や人員では対応が難しい場合、別の方法を考える必要があります。誰が何を行うかを明確にしておくことでスムーズな支援に繋がります。学校に押し付けずに、保護者、学校、病院など複数の機関で子供を支えることが大切ですが、それぞれの場所で違う事を言われると子供は混乱してしまいます。支援者が足並みをそろえることも大切です。

友達の協力が得られるととても心強いです。いつ、どうやって助けたいかわからずに戸惑っていることもあるので、協力を依頼する時には具体的に伝えるようにしましょう。

③本人や家族の精神的なケアも大切

障害を受容することはとても大変なことです。入院中は落ち着いていても、復学してから実感して深く悩むこともあります。今までできていたことが急にできなくなったことはとても辛いことです。効果的な方法だからと言って無理に受け入れさせるのではなく、本人や家族の希望やペースにも目を向けた支援が必要です。

④定期的に支援者間で情報共有を行う

順調に見えていても、辛さをうまく訴えられず無理をしている子供もいます。毎日接しているからわかることがあれば、たまにしか会わないからこそ気づくこともあります。また、各支援者の立場によって受ける印象や捉え方が異なります。様々な視点からの情報を共有することで、問題が大きくなる前に気づいて対応につなげることができます。

※次号は実際の復学支援の事例を紹介します。



2. イベント報告

平成 28 年度

「じゃじゃじゃ交流会 in 七ツ森」開催！

平成 28 年 11 月 27 日（日）に、高次脳機能障がい者普及支援事業「じゃじゃじゃ交流会 in 七ツ森」がいわてリハビリテーションセンターにて開催されました。当事者、家族、支援者、スタッフを合わせて 22 名の方に参加していただきました。

今回は、卓球バレーとお話を楽しむ交流会の 2 本立て！

卓球バレーは、3 チームに分かれて、総当たり戦を行いました。ルールを確認する姿勢は皆さん、真剣そのものでした。激しい打ち合いも繰り広げられ、どの試合でも観戦する人、プレーする人それぞれが一瞬も見逃せない試合が続きました！



チーム一丸となり、協力しておこなうことができました♪
審判の三浦さん、ありがとうございました！

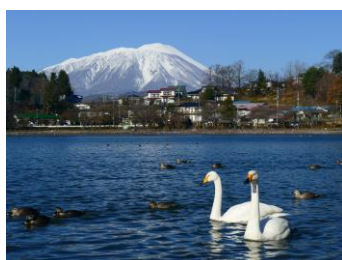
交流会では、自己紹介から始まり、卓球バレーで楽しかったことを振り返ったり、今自分が興味を持っているもの等についてみんなでお話しました。参加者の皆さんからは「楽しかった」と感想をいただきました。

次回も、みなさんのご参加をお待ちしています！！



◆◇いわて再発見◇◆

【高松の池】



「日本さくらの名所百選」にも名を連ねる桜の名所です。夏にはボート、秋の紅葉、冬は白鳥の飛来地として四季の行楽地として市民の憩いの場となっています。

3. 編集後記

（12月号ですが、この記事が皆様に届く時には年が明けていると思われます。）お正月はいかがお過ごしだったでしょうか？楽しく過ごされましたか？おせちや、お餅は食べ過ぎなかったですか？

さあ、今年はどんな年になるのでしょうか。様々なことが起こり、変化の大きいご時世ですが、できれば明るく元気に過ごせる一年になったらいいと思います。皆様の一年がまた豊かでありますように。

ご意見ご感想はこちらまで メールニュース担当（佐藤・渡辺・富山・佐々木）

アドレス koujinou-shien-reha@irc.or.jp